

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	有	電話	042(769)8232
担当部課名	保健福祉部	子育て支援	課	児童育成 班
事務事業名	子どもの広場助成事業		事業コード	13120

1 総合計画における位置づけ

政策名	第3章	子どもが健やかに育つ環境づくりを進めます。	事業開始年度
基本施策名	第1節	子育て環境づくりの推進	~63 年度
施策名	第2施策	公園、ふれあい広場の整備と子どもの広場の確保	

2 実施根拠及び関連法令等

相模原市子どもの広場設置・整備費補助金交付要綱、相模原市子どもの広場施設賠償責任保険料補助金交付要綱
--

3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
<p>民間の遊休地等を自治会が無償で借受け、管理している。 市は設置・整備費、施設賠償保険料の補助の実施や遊具点検方法などの説明会を開催するなど、自治会などの管理運営をバックアップし市内126箇所の子どもの遊び場を確保している。</p>		<p>子どもの広場管理団体</p>	
		対象数	126箇所
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
<p>設置・整備費補助金の交付</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設置費補助 2件 686千円 ・整備費補助 22件 2,367千円 <p>施設賠償責任保険料補助金の交付 11件 48千円 広場管理説明会の実施 3回 担当職員による施設点検 2回/年</p>		<p>第3章 第1節 2 子育て支援の充実 子どもの広場の確保</p>	
		(5) 個別計画の概要	
		計画名 相模原市児童育成計画	
		計画年次 13年度~17年度	
		2. 豊かな遊びと仲間づくり 3) 子どもの広場・児童遊園の充実	

4 評価指標

指標名	整備費補助金利用の達成率	施設賠償保険料補助金利用の達成率
指標式	補助金執行額÷補助金予算額%	補助金執行額÷補助金予算額%
指標設定の意図	整備費補助金の利用を促進することにより、広場の施設整備を図り、利用する子どもの安全の確保を図る。	保険料補助金の利用を促進することにより、遊具等の瑕疵による事故に対する補償体制を確立する。

5 目標と実績

〔金額単位：千円〕

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度	
	実績	実績	実績	目標	目標	
指標	74.8	50.0	a 96.0	b 95.0	95.0	
指標			c 11.3	d 20.0	30.0	
指標			e	f		
事業費	決算(予算)額	1,533	1,873	3,101	3,280	3,478
	人員・時間数	(0.6人)	(0.6人)	(0.6人)	(0.6人)	(0.6人)
	人件費	505	505	505	505	505
	その他経費	0	0	0	0	0
	合計	2,038	2,378	3,606	3,785	3,983
特定財源	0	0	0	0	0	

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか		
評価 C ▼	A : 達成している (100%)	= 、 、 の平均値 = 78.8%
	B : 一部達成していない(100%> 80%)	
	C : 達成していない (80%>)	
$\frac{a}{b} = \frac{96.0}{95.0} \times 100 = 101.1\%$	$\frac{c}{d} = \frac{11.3}{20.0} \times 100 = 56.5\%$	$\frac{e}{f} \times 100 =$
理由 :	施設賠償責任保険の加入率が低かった。	
(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か		
評価 A ▼	A : 適応している	理由 : 遊休地を無償で借受け、管理も自治会によるため低コストで維持でき、また、自治会ごとに使用形態を決定できる。
	B : 一部適応していない	
	C : 適応していない	
(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か		
評価 A ▼	A : 妥当である	理由 : 自治会による管理・運営のため低予算での広場の確保が可能である。
	B : 一部妥当でない	
	C : 妥当でない	
(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か		
評価 A ▼	A : 代替の可能性ない	理由 : 自治会による管理のため、市の実施が適当である。
	B : 代替の可能性低い	
	C : 代替の可能性高い	
(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか		
評価 B ▼	A : 満足できる	理由 : 施設整備が不十分の箇所が見受けられ改善する必要がある。
	B : 一部満足できない	
	C : 満足できない	
(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か		
評価 A ▼	A : 有効である	理由 : 民間の遊休地を無償で借りているため、コスト面から見ても有効である。
	B : 一部有効である	
	C : 有効でない	

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	<p>説明 :</p> 遊具のある施設を中心に、保険の加入率を高める必要がある。
	<p>コスト改善余地</p> <input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	<p>説明 :</p>

7 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較	本市独自の自治会による借地型の広場であり、各地域にあった利用がなされている。
今後の進め方		説明	自治会等の管理団体の努力により市内126箇所の広場が確保されているが、相続の発生や土地利用のため、年々広場の数は減少している。現在ある広場を充実させるためにも、施設の管理体制を強化し、より安全な広場とすることが求められる。
<input checked="" type="checkbox"/>	継続		
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点

--